

GREEN

全農長野県本部情報 グリーンリーダー

Rader

2025
7
Vol.554



重点事業方針 A-Policy

生産販売部 野菜きのこ課の取り組み 生産振興部の取り組み

A-Reports

- ・長野県A・コープ県下各店で信州農畜産物フェスタを開催…………… 4
- ・「アグリプラット」が商標登録されました…………… 5
- ・「令和7年度 長野県青果物・花き取引会議」を開催…………… 6
- ・東京・大田市場でJA信州諏訪のトップセールス…………… 7
- ・北九州中央卸売市場で朝日村産レタス類のトップセールスを実施…………… 7
- ・サラダクラブの「カットレタス」など増量…………… 8
- ・(株)美山で県産ハクサイ使用「いちおしキムチシリーズ」
増量&農産物プレゼントキャンペーン…………… 8
- ・新採用職員紹介…………… 9
- ・JA全農長野の事業現況…………… 10
- ・今月のおすすめレシピ…………… 10
- ・7月のラジオ番組表…………… 10
- ・編集後記…………… 10



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

野菜きのご課

生産販売部

野菜きのご課の取り組み

1. 令和7年度事業計画

(単位：千円)

大品目	7年度計画	6年度計画	6年度実績	計画対比	実績対比
葉 菜	18,770,000	20,000,000	18,672,803	94%	101%
洋 菜	29,700,000	31,290,000	29,555,542	95%	100%
根 菜	560,000	730,000	539,892	77%	104%
果 菜	5,340,000	4,820,000	5,487,991	111%	97%
加工野菜他	355,000	510,000	324,312	70%	109%
購買種苗他	465,000	680,000	449,027	68%	104%
野 菜 合 計	55,190,000	58,030,000	55,029,567	95%	100%
き の こ	18,740,000	18,510,000	19,803,438	101%	95%
きのこ加工	100,000	110,000	90,369	91%	111%
種 菌 培 地	310,000	400,000	286,095	78%	108%
きのこ合計	19,150,000	19,020,000	20,179,902	101%	95%
合 計	74,340,000	77,050,000	75,209,469	96%	99%

2. 野菜 重点取組事項

- (1) 生産・流通コスト上昇における対策として、農産物販売価格向上と生産経費圧縮に向けた生産販売と取り組みます。
- ① 生産コスト上昇に伴う売価への反映と消費者への啓発を行います。

- ② 契約的取引価格の継続した値上げ交渉を進めます。
- ③ 県下統一規格に向けた出荷容器規格および低コスト容器の検討を進めます。

- (2) 主力品目の需要を鑑みた計画生産・販売を徹底し、販売価格の安定を図ります。
- ① 時期別に課題となる夏ハクサイ、レタス類の生産計画を、地域に見合った具体的な代替品目の提案と合わせて作付け誘導を進めます。

- ② 長野県として生産量の充実に必要な品目と期間を明確にして生産誘導を進めます。
- ③ 業務加工向けの原料供給拡大や新規企画・商品開発に関わり、需要を創出していきます。
- ④ 精度の高い生産・販売情報に基づいた企画の提案を積極的に進め、消費の活性化を図ります。
- ⑤ 緊急時には特別対策事業を機動的かつ効果的に発動して出荷調整機能を発揮します。
- ⑥ 価格形成に向けた分荷機能を発揮するためのシステム化を進めます。

- (3) 長野県としての重点市場・実需者を明確にして、JAと一体となつた供給販売体制を強化します。

- ① 機能ある卸売会社との連携を強化し、県内の産地リレーや総合品目供給を進め、効果ある消費宣伝事業を活用し重点実需者との連携を強化します。

- ② 契約取引は、顧客確保とともに競合産地対策、生産者手取りの安定確保を目的として、契約履行するための条件整備と生産対策を進めます。

- ③ 業務加工向け取引では、実需者と連携して出荷形態を検討し、商品開発と販促企画を組み立て、産地・実需者ともにメリットある取り組みを目指します。

- (4) 品質維持向上対策を進め、長野県産商品の販売先確保と顧客満足度を高めます。
- ① 品質維持向上対策を進め、長野県産商品の販売先確保と顧客満足度を高めます。

- (5) 多様な生産者への生産提案による生産基盤強化と系統共販対策を進めます。

- ① 果根菜類および加工業務原料野菜を農業生産法人・営農組合・複合経営生産者などに推進し、生産拡大と集荷対策を進めます。

3. きのご 重点取組事項

- (1) 計画生産の取り組みと需給バランスを鑑みた臨機応変な販売対応の構築を進めます。

- ① 再生産価格確保に向けた計画生産を推進します。

- ② JAと連携して、生産者の実態把握と系統集荷対策を行い、集荷計画の精度向上に取り組みます。

- ③ 市場流通動向と消費ニーズの把握を行い、有利販売を進めます。

- (2) きのご販売価格向上ときのご商品価値の醸成を進めます。

- ① 生産コスト上昇に伴う売価への反映と消費者への啓発を進めます。

- ② 契約的取引の条件見直しと値上げ交渉を進めます。

- (3) アイテム集約と量目規格統一による供給口確保と提案力の強化を進めます。

- ① アイテムや量目規格の集約によるトータルコストの削減を進めます。

- ② 荷造りアイテムの集約による販売・提案力の強化を進めます。

(4) 効果的な消費宣伝事業を実施します

- ① マネキンを効果的に活用した消費宣伝事業を展開します。
- ② 食育活動とイベント開催による需要の創出を進めます。
- ③ きこの食文化発信と需要創出に向けた各種研修会の開催とレシピ開発による消費喚起を進めます。

(5) 安全安心に向けた衛生管理の徹底と品質向上を進めます。

- ① 金属、ガラス、プラ片など健康被害案件につながる異物混入対策の徹底に向けて、講習会やチラシなどで啓発を進めます。
- ② 生産者への巡回訪問による施設点検を定期的に実施いたします。

(6) 物流課題への対応と物流コスト抑制に向けた段ボール開発の検討を行います。

- ① 輸送効率化に向けた集出荷体制と納品方法の見直しを進めます。
- ② パレット規格に適合する段ボールの開発検討とパレット単位輸送の検討を進めます。

(7) きこの産地の安定供給体制の維持に努めます

- ① 中核産地センター方式による効率的な母菌供給体制を堅持していきます。
- ② 農工研との連携によるきこの優良品種開発と普及を進めます。



「7月2日夏の長野県産レタスの日」記念日登録



野菜・きこのキャンペーン第1弾

■テーマ

「夏こそ!! アツアツレシビ or 夏だから、ひんやりレシビ 夏に食べたい一皿はどっち!」

■期間

令和7年5月20日(火)～7月31日(木)

■展開

全国量販店売り場、Web、DELISH! KITCHEN 広告、Googleディスプレイ広告、Instagram 広告

■目的

7月のレタス最盛期に伴い記念日を登録し、各種メディアでの露出や量販店等での販売促進活用により、レタスのPRと販売訴求に繋げる。

■コンセプト

登録日は「夏な(7)つ(2)」にちなんで「7月2日」とし、今年だけでなく複数年かけて認知度向上と企画規模拡大を狙う。



「7月2日夏の長野県産レタスの日」店舗展開 (令和6年度)

生産者へ消費宣伝事業の紹介チラシ (配布チラシ、JA広報誌掲載)



きこの安全安心対策



生産者あての異物混入対策の啓発チラシ

きこの・白菜食育授業

■日時

令和6年10月1日(火) 14時限目

■開催

長野市立緑ヶ丘小学校 5年生

■授業

きこの・白菜の食育体験学習(きこの収穫体験・白菜の重さ当て・調理)「見て・触って・食べて」



きこの・白菜の食育体験学習

生産振興部

生産振興部の取り組み

J A全農長野生産振興部は、野菜・果樹の生産振興や、優良種苗の安定供給、営農技術員の指導体制の強化に向けたシステム開発、安全安心な農産物の生産体制、技術情報誌の発行など生産現場を軸に事業展開を行っています。

■生産振興（野菜）

令和7年度は野菜の生産振興として、アスパラガスの生産拡大において新たな栽培技術「枠板式高畝栽培」の実証試験を行っています。また、果菜類（なす）の単収向上と生産拡大を目的に、簡易雨よけハウスによる普及モデル圃を設置し実証試験を進めています。

また、近年の異常気象や園芸作物の安定生産、水田転作のための排水対策として、カットブレイカーや平高畝整形機（ベッドマイスター）の実演及び県下J Aに向けた実演機の貸出を開始しました。

引き続き、生産安定に向けた施設化、省力機械や栽培技術・品種等の実証を継続して行い、実証結果によ

る栽培技術の普及を進めることで生産出荷量の拡大を目指してまいります。



平高畝整形機（ベッドマイスター）施工の様子

■生産振興（果樹）

りんごの高密植栽培の普及拡大に向け、剪定講習会やりんご高密植栽培研究会を開催し、栽培安定に向けた技術指導を進めています。

また、気象災害・変動に対応した

生産安定化対策として、コンクリートトレリスの普及推進を進めています。課題であったコスト低減策として、輸入のコンクリートトレリスのモデル圃を県下2ヶ所で設置し実証を行っています。

さらに、高温対策における栽培技術や資材について県試験場等と連携し検討を進めるほか、労力低減に向け、高所作業車や追従運搬車等の省



令和6年度 りんご高密植栽培機械実演会の様子

力機械実演会を実施する予定です。

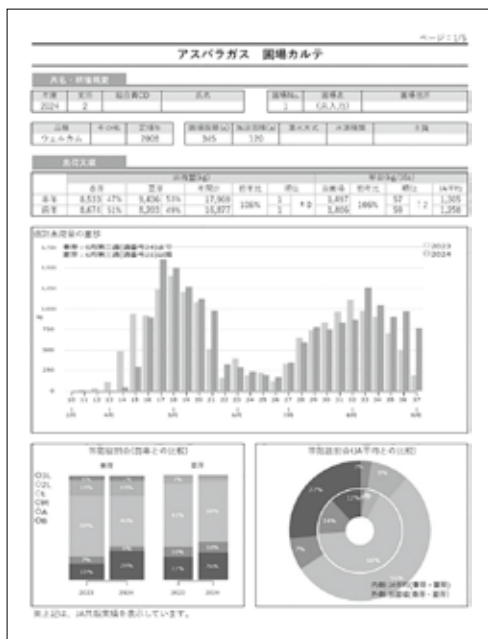
■優良種苗の安定生産

野菜種苗センターでは、高品質苗の生産を行うため、生産工程管理の徹底を図っています。

また、りんご苗木事業では、J A出資法人に生産委託し、フェザー苗木等の生産拡大を図り、令和6年度は52,000本を県下



フェザー苗生産圃場



作成された圃場カルテ

生産振興部はJAと一体となって、生産振興、新たな栽培技術や施設化、生産拡大を目的としたシステム開発に引き続き取り組んでまいります。

また、第三者認証GAPの取得を目指す産地への取得支援も行っています。

■生産振興及び営農技術員の指導体制強化に向けたシステム開発
生産者の反収向上及び営農技術員の指導力向上を目的に、「圃場カルテシステム」の開発を進めています。圃場カルテシステムは圃場毎の栽培・生育情報、作業情報を一元的に集約することで、「圃場カルテ」を作成し、当年度の栽培結果を振り返り、次年度の栽培に反映させることを目的としています。令和6年度は圃場カルテシステム（品目：アスパラガス）を4JAで運用しています。また、りんご高密度栽培における

JAに供給しました。令和7年度は60,000本のフェザー苗の生産供給を目指しています。

■安全安心な農産物の供給体制の推進
JA長野県グループでは、生産者の農薬適正使用の検証と農産物の安全安心体制を向上することを目的に、年間1,700検体の残留農薬自主検査を行っています。また、令和7年度より長野県GAPが国際水準に引き上げとなったことから、県と連携し、県下JAにおいて長野県GAP基準に沿った「長野県GAPチェックシート」【生産者確認表】による取り組みを進めています。

「圃場カルテシステム」の開発を進めており、県内JAへの導入提案及び運用開始を目指してまいります。

畜産酪農課

A-Reports

長野県A・コープ県下各店で信州農畜産物フェスタを開催 ～信州和牛・信州アルプス牛を店頭PR～

JA全農長野畜産酪農課と(株)長野県A・コープは5月23日(金)から25日(日)の3日間、A・コープ各店で「初夏の信州農畜産物フェスタ」を開催しました。開催期間限定で豚ブロック肉や牛ステーキ各種半額、また各種お徳用パックと日替わり商品の特売を行いました。

日ごろの感謝と、信州産の畜産酪農産物をさらにPRするため、信州アルプス牛の生産者と畜産酪農課職員が、ファーマーズ南長野店、ファーマーズ佐久平店、ファーマーズうえだ店、ファーマーズ富士見店、ファーマーズこまがね店の5店舗で牛ステーキ半額の



来店客で賑わう精肉売り場



ファーマーズこまがね店に立つ生産者（左）

日に合わせて信州の牛肉をPRしました。各店舗の地元生産者のお肉をケースに並べ、「地元産のお肉をぜひ食べてください」と買い物客に声をかけながらPRを行いました。初夏の農畜産物フェスタということで、BBQ目的で食材を買い求めるお客様もいて「地元の牛肉が半額で買える」と非常に好評でした。地元の信州アルプス牛・信州和牛に高い評価をいただき、おいしい信州の牛肉をPRする機会となりました。

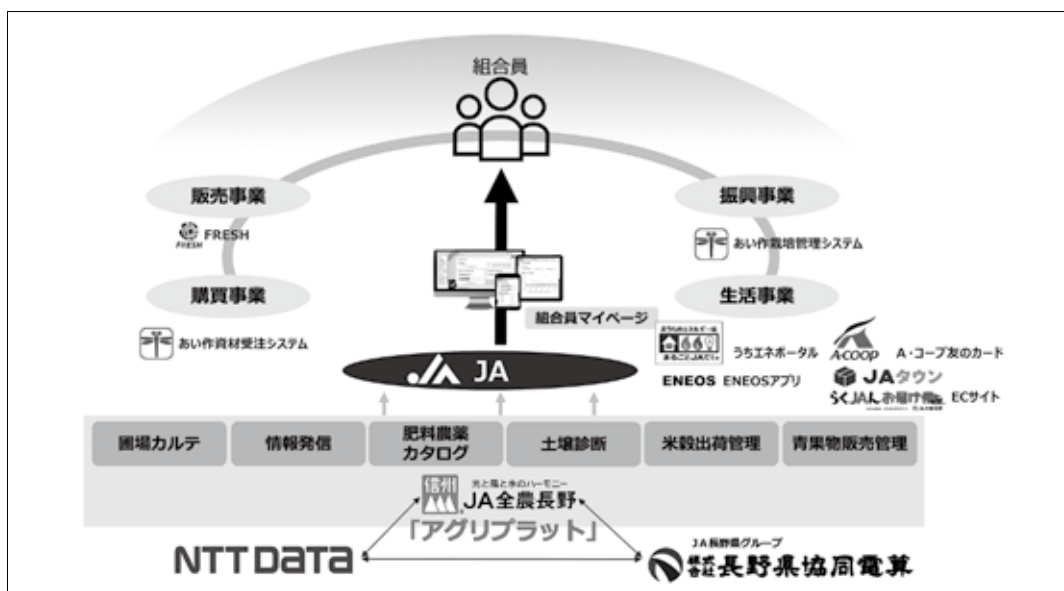
畜産酪農課は今後も、安全で安心な信州産農畜産物の販売促進に取り組んでまいります。

DX推進課

「アグリプラット」が商標登録されました ～農業生産管理に関わるDX化の取り組み～

ＪＡ全農長野では、営農及び経済事業等に関わるデジタルトランスフォーメーション（DX）化を進めています。2022年３月より着手し、各システムの開発・稼働・合意形成を進め、2024年には各関係機関と協議のうえ「次期中期３カ年全農長野DXビジョン」を策定しました。現在は各プロジェクト・委員会を組成のうえ、取り組みを進めています。

システム名称	主 な 効 果
米穀出荷管理システム	①米穀出荷契約に関わる作業の簡略化（組合員） ②米穀出荷契約に関わる労働時間削減、デジタル管理による正確性の向上（ＪＡ） ③ＪＡへのサポート機能強化、米穀データ管理の正確性の向上、事業拡大等（本会）
青果物販売管理システム	①青果物・花きに関わる出荷報告作業の軽減、各種情報の早期伝達によるサービス向上（組合員） ②青果物・花きに関わる集出荷・販売業務に関わる業務の効率化・省資源化・販売力強化（ＪＡ・本会・卸売会社）
圃場カルテシステム	①各種データに基づいた営農指導を受けることが可能に（組合員） ②圃場カルテの作成により、効率的な圃場診断・経営指導の実行に寄与（ＪＡ） ③品目別、ＪＡ別の高反収モデルの構築・見える化・水平展開（本会）
情報発信システム	①営農技術指導や資材情報等の各種情報の迅速な把握（組合員） ②営農技術指導や資材情報等の各種情報をデジタル発信をすることによるサービス向上（ＪＡ・本会） ③営農指導の強化・経済事業の拡大及び関係事務の効率化（ＪＡ・本会）
土壌診断システム	①土壌診断結果のスピーディーな配信による利便性の向上（組合員） ②土壌診断事務に関わる事務の効率化（ＪＡ・本会）
生活事業関連サイト連携	①ＪＡうちエネポータルと組合員マイページの連携による利便性向上（組合員） ②生活事業のPR・更なる利用者の確保（ＪＡ・本会）
肥料農薬カタログ	①資材発注に関わる作業の簡略化（組合員） ②資材発注に関わる事務の効率化（ＪＡ） ③ＪＡへのサポート機能強化、商品情報、画像の早期提供による事業拡大等（本会）



2024年２月の県本部内プロジェクト会議において、これらのシステムの総称を「アグリプラット」とすることに決定し、この度商標登録がされました（2025年５月）。

今後の農業振興や経済事業の利用拡大の展開において、DXの推進は必要不可欠です。DX化を通じて、組合員やＪＡに付加価値の高いサービスを提供できるよう、引き続き取り組みを進めてまいります。

■登録内容

- 商 標：アグリプラット（文字商標）
- 登 録 日：令和７年５月１日
- 登録番号：第6924645号
- 権 利 者：全国農業協同組合連合会
- 登録区分：４区分（９類、35類、42類、44類）*1
- そ の 他：登録内容の詳細は、QRコードにてご確認ください。

*1 第９類：電気制御用の機械器具等、第35類：対企業のコンサル業務全般等、第42類：調査・分析・設計・開発等、第44類：農業・園芸等に係る役務



生産販売部

「令和7年度 長野県青果物・花き取引会議」を開催

J A全農長野生産販売部は6月5日(木)、長野市内で「令和7年度 長野県青果物・花き取引会議」を開催しました。取引先の主要卸売会社23社の代表者、長野県の阿部守一知事をはじめ、産業労働部営業局および農政部関係者、全農長野の神農佳人運営委員会会長、眞島実副会長、長谷川孝治県本部長、県内J A組合長など合計約80名が出席しました（＝表紙：主催者挨拶をする神農会長（左上）と来賓挨拶をする阿部知事（右上））。

この会議は、長野県産青果物・花きの出荷シーズンを迎える時期に、県産ブランドの販売強化による農家手取りの向上と、卸売会社とのパートナーシップ構築を目的に開催しています。

会議では、生産販売部の小林博部長が取扱計画や生産販売の重点方針を説明し、長野県農政部から、長野県農政の展開方向についてのお話をいただきました。また、参加した卸売会社より、次のような内容のご提言をいただきました。

■東京青果株式会社 川田 光太 様

テーマ：消費動向・環境変化時での求められる産地対応について

販売環境が変化するなか、コスト上昇の動きは産地だけでなく量販店も同様の理解があり、売価形成につながりつつある。再生産価格につなげるためにも、契約取引などの取り組みや強化により安易な価格競争を避けることが大事。青果物は、天候による出荷量や価格の変化も大きい。今後は、より産地との迅速・的確な情報共有により、需給のバランスを考慮した販売展開をすすめ、ロスを抑えていきたい。先が読めないが、しがらみに捉われず今まで以上に市場機能を発揮した販売を拡大し、産地へお返しをしたい。

■株式会社R&Cながの青果社長 堀 陽介 様

テーマ：青果業界におけるDXの動向 卸・産地の目指すところ

青果業界は手探りで進めているところ。アナログからデジタル化を進めるも、人による意思決定が重要であり効率・省力化が進まない要因でもある。しかし、業務を可視化し無駄や二重行為を解消するためにも、データ連携が不可欠であり業界統一のサプライチェーン体制が必要。自己最適化は、つなぎ目に皺寄せが起これば全体では非効率となる。コストも掛け最終的にマーケットに付加される。DXは、単にシステムによるデジタル化を進めることではなく、関わる人が意識を変えて取組むことが重要。「D」よりも「X」が大事。産地と卸が情報を共有しながら進めていきたい。

■株式会社なにわ花いちば社長 大西 常裕 様

テーマ：花き業界の物流・DXの動向について

コロナ禍の中で、全面オンライン取引に舵を切った。セリ時間は朝から夕方19時に変更。オンラインにより、より多くの方が参加できるようになり350名が500名に拡大した。活性化するなか、セリ前の相対取引にも参加者が多くなり安定販売となった。オンライン取引によりセリ場が不要となり、人員も減らせられ勤務時間・働き方が変わり離職率も低下した。オンライン取引によるデメリットはない。データ連携や分析により、販促・販売につなげていく事が大切だ。

物流改革では、花き協会として全国8支所による広域のネットワークを整備し、ストックポイント・ハブ対応の役割も考えている。引き続き、産地にはしっかりと生産をして供給をお願いしたい。

生産販売部では今回の会議内容をふまえ、DXやシステム、生産販売にかかわる今後の方向性について検討して行動に移してまいります。

(東京販売事務所)

東京・大田市場でJA信州諏訪のトップセールス

JA信州諏訪は5月16日(金)、東京都中央卸売市場・大田市場でJA信州諏訪のセルリーを中心とした高原野菜の出荷開始をPRするトップセールスを行いました。

セリ前にJA信州諏訪の小平淳組合長が「JA信州諏訪は長野県の南東部に位置し、標高約1,200メートルの八ヶ岳山麓から、標高759メートルの諏訪湖周辺に至る地域で野菜の生産が営まれています。当JAが全国一の生産量を誇るセルリーも5月9日に出荷を迎えました。本年も、生産者・JA・全農長野が協力して良いものを作り出荷してまいりますので、1年間よろしくお願いいたします」と挨拶し、名取孝雄専務理事の木遣りで活発な取引をお願いしました。

場内ではプレゼント用にセルリーとハウレンソウを袋詰めし、60セット用意し、市場関係者・仲卸の皆様に振る舞いました。

JA全農長野東京販売事務所は今後も長野県産農産物の販売促進に努めます。



挨拶をする小平組合長



セルリーとハウレンソウの振る舞い

(福岡販売事務所)

北九州中央卸売市場で朝日村産レタス類のトップセールスを実施

JA松本ハイランドは5月10日(土)、北九州中央卸売市場で東筑摩郡朝日村産レタス類のトップセールスを実施しました。朝日村の小林弘幸村長、JA松本ハイランドの田中均組合長、朝日野菜委員会の高橋宗治委員長、JA松本ハイランドの上條典泰朝日支所担当理事が市場関係者や仲卸・小売業者に向けて出荷開始となったレタス類をPRし、魅力ある相場形成を要請しました。

また同日、北九州市小倉南区にある「サンリブシティ小倉店」で対面試食販売を行い、小林村長と田中組合長が売り場に立ち、消費者に直接朝日村のレタス類をPRしました。新鮮なレタス類は大変喜ばれ、完売する品種もありました。

福岡販売事務所は、引き続き長野県産青果物の積極的なPRを実施してまいります。



セリ前に挨拶をする小林村長（上段中央）と下段左から田中組合長、高橋委員長、上條担当理事



売り場に立つ小林村長（右手前）

営業課

サラダクラブの「カットレタス」など増量

ＪＡ全農長野営業課が長年レタスを供給している(株)サラダクラブは、６月１日から７月中旬の期間限定で、「カットレタス」「リーフミックス」「リーフミックス ビッグパック」をそれぞれ25%増量して全国（北海道・東北・沖縄県を除く）で販売しています。

例年６月中旬から実施してきた企画ですが、今年は天候に恵まれ豊作基調であることから、開始予定日を早めて販売が始まりました。この機会にぜひご賞味ください。

ＪＡ全農長野営業課は、今後も取引先と連携して県産青果物の販売促進企画を提案・実施し、さらなる消費拡大に取り組んでまいります。



25%増量した3商品

営業課

(株)美山で県産ハクサイ使用「いちおしキムチシリーズ」増量&農産物プレゼントキャンペーン

ＪＡ全農長野営業課が長期契約でハクサイを供給している(株)美山は、県産ハクサイの出荷時期に合わせ、今年もキムチ増量キャンペーンと県産農産物プレゼントキャンペーンを実施します。

増量企画の対象商品は、「いちおしキムチ」「いちおしキムチ辛口」「いちおしキムチ大容量」「いちおしキムチ焼肉屋の味」の４品。７月上旬から８月上旬の１カ月間限定でいずれも20g増量します。

また、増量企画終了後の８月上旬から９月上旬には、長野県産「ぶどう三姉妹詰め合わせセット」「シャインマスカット」「コシヒカリ」「きのこ詰め合わせセット」が当たるキャンペーンを行います。

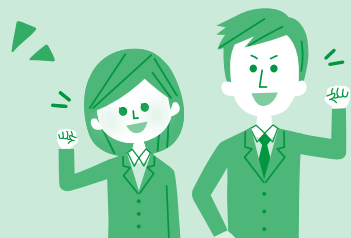
この機会に「いちおしキムチ」をとおして長野県産ハクサイをぜひご賞味ください。全農長野営業課では、ハクサイ原料の供給を図るとともに、今後も取引先と連携し、県産青果物の販売促進を提案・実施し、消費拡大に取り組んでまいります。



New face

新採用職員紹介

令和7年度の新採用職員を順次ご紹介します



生産購買部



農業資材課
資材店舗グループ

ほった ゆうこ
堀田 侑吾

**皆様から支持していただける
店舗作りのため頑張ります！**

はじめまして、農業資材課資材店舗グループの堀田侑吾と申します。

出身は長野市です。こんななりをしていながらディズニーが大好きです。フロリダのディズニーワールドにも行きました。

現在はJAファーム店の衣料を担当させていただいています。農業資材は本当に幅広く、覚える商品も多いため、日々学びながら業務に取り組んでいます。

まだまだ未熟でご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが、いち早く戦力になれるよう頑張ります。

よろしくお願いします。

生産購買部



肥料農薬課

ひがしかた ももこ
東方 桃子

肥料担当として頑張ります！！

はじめまして、肥料農薬課の東方桃子と申します。出身は長野市信州新町で、実家で小規模ながら農業を営んでいることもあり農業は以前から身近な存在でした。休日は音楽鑑賞や散歩をしたり絵を描いたりしています。

肥料農薬についてはほとんど知識がなく、初めて知ることをひとつひとつ学んでいる日々です。肥料担当として覚えることは沢山ありますが、やりがいも感じています。少しでも早く皆様の力になれるよう尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

生産購買部



農業機械課
農機協同経営グループ

いしそね あつし
石曽根 淳

トラクターに乗っている、石曽根淳

はじめまして。農機協同経営グループの石曽根淳です。

出身は安曇野市で、趣味は読書と散歩です。大学は文学部で、現代小説について勉強していました。実家が兼業農家でお米を作っており、農業に興味を持ちました。

農業機械に関してまだまだ勉強不足ではありますが、いち早く仕事を覚えていき、農業機械課から長野県を盛り上げていきたいと考えています。何卒よろしくお願いいたします。

畜産酪農部



畜産酪農課

ふくし みう
福士 海羽

八ヶ岳牧場の牛と一緒に撮りました！

はじめまして、畜産酪農課の福士海羽と申します。出身は青森県弘前市で、大学生までは神奈川県川崎市に住んでいました。マイブームはパペットスンスンとセサミストリートです！

祖父がりがんご農家をしており、農業に興味を持ちました。大学入学前は、静岡県県の畜産酪農農場で1年間学んでいました。

八ヶ岳牧場でのふれあい教育ファームを担当しています。まだまだ分からないことだらけですが、1日でも早くお力になれるよう努力していきます。よろしくお願いいたします。

JA全農長野の事業現況

令和7年度5月末総供給販売高実績表 (単位:百万円、%)

品目	区分	当年度実績	計画比	前年比
生産振興課		0	—	2
野菜種苗センター		68	110	120
生産振興部計		68	110	112
米	穀	3,108	84	118
果実花き		750	68	76
野菜きのこ		5,020	83	84
営	業	961	83	94
生産販売部計		9,839	82	93
農業資材		1,423	102	159
肥料農薬		2,110	111	82
農業機械		1,396	116	116
施設住宅		427	109	71
生産購買部計		5,357	109	102
畜産酪農		4,812	102	100
三岳牧場		49	91	96
S P F繁殖センター		47	86	98
ハケ岳牧場		47	93	94
畜産酪農部計		4,955	101	100
燃料・ホームエネルギー		4,239	116	102
S S 協同経営		1,369	128	104
くらし		1,233	95	79
くらし支援部計		6,841	113	97
長野県本部計		27,059	97	97

(内部販売高含む)

7月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	出演
7/8(火) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい 「いい」Aん家庭菜園	全農長野 資材店舗グループ
7/23(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい 「暮らしの応援団」	果実花き課

グリーンレーダー
X(旧ツイッター)はこちら



グリーンレーダー
WEB版はこちら



今月のおすすめレシピ

長野県産 野菜ときこのキャンペーン第1弾レシピ

レタスと鶏ひき肉の エスニック風春雨



【材料(2人分)】

- ・鶏ひき肉…… 200g
- ・レタス…… 150g
- ・緑豆春雨…… 70g
- ・ごま油…… 小さじ2
- ・塩胡椒…… 少々

A

- ・ナンプラー
…… 大さじ1
- ・レモン汁 …… 小さじ1
- ・砂糖 …… 小さじ1
- ・鶏ガラスープの素
…… 小さじ1
- ・水 …… 大さじ2
- ・一味唐辛子 …… 適量

【作り方】

- 耐熱ボウルに春雨が被るくらいの水を入れ、ふんわりとラップをかけたら、600Wのレンジで5分加熱する。ザルにあげて水けを切って粗熱をとる。
- レタスは手でちぎる
- 中火で熱したフライパンにごま油をひき、鶏ひき肉を色が変わるまで炒めたら塩胡椒をする。
- ③にレタスを加えてサッと炒める。
- 全ての材料を混ぜ合わせ、味が足りないようなら塩で調え、器に盛る。食べる直前まで冷やしておく。

ポイント

鶏ひき肉、レタスを具材にエスニック風のピリ辛味にしたレタス春雨。調味料はナンプラーやレモン汁、唐辛子を使い、甘辛酸っぱい味わいに。炒めることでレタスを大量に消費することができます。

編集後記

雨が多い時期は、畑の水やりをしなくてもよいので助かります。昨夏の猛暑で私の畑の土が乾燥し、硬くなりました。保水性を高めるため、昨秋には腐葉土を施し、この春先には堆肥を多めに投入しました。その結果、今年の夏に改善するかどうか見たいと思います。

作物の成長が著しいこの時期は、手入れを怠るとすぐに影響が出ます。例えば、馬鈴薯の土寄せは重要な作業ですが、私が丁寧に行わなかったため、茎ごと倒れたり、小さい馬鈴薯がむき出しになり緑に変色してしまいました。

また、鳥よけネットを張らなかつたため、家のブルーベリーが朝には小鳥にかなり食べられていました。鳥においしい部分を取られて残念でしたが、朝の「カッコー」の鳴き声には癒されています。甘くておいしい実は、動物も昆虫も好きです。イチゴも「草姫」や「とちおとめ」を植えていますが、蟻に先取りされないよう、熟した実を早く収穫するため蟻との競争です。

小動物で気を付けるべきはハクビシンです。昨年はトウモロコシとポップコーンが相当数なぎ倒されました。数本の範囲で食べられればと思いましたが、何本も一度に倒されると脱力感を感じます。今年は夜行性動物からどう守るか考えています。来たる夏の夜は心配せず、心地よい眠りにつきたいものです。(丁)

農業機械ご成約 プレゼントキャンペーン



1台
あたり

150万円(税込)以上の農業機械ご成約の方に

もちろんプレゼント!!

キャンペーン期間 令和7年6月1日～8月31日ご成約分まで

A ご成約金額(税込)
150万～300万
コース
1品選べます 円未満



1
信州産豚肉 / 焼肉用セット
(ロース 300g × 2・肩ロース 300g × 1)

2
リンベル
カタログギフト
(ジャズ)



B ご成約金額(税込)
300万～500万
コース
1品選べます 円未満



1
信州アルプス牛ロース
/ すき焼き・しゃぶしゃぶ用
(500g × 2)

2
リンベル
カタログギフト
(ミュージック)



C ご成約金額(税込)
500万円以上
コース
2品選べます



3
アラジン トースター
(グラファイトトースター AET-GS13C)



コンパクトなので色々な
場所に持ち運べます。

4
ケルヒャー 掃除機
(バキュームクリーナー KWD1)



※写真は全てイメージです。

応募方法

ご成約JAにてお渡しする、キャンペーン応募用紙にてお申し込みください。
※応募用紙にご記入の個人情報はプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。

お問い合わせは、
お近くのJA農機センターへ

夏の農作業はこまめに水分
塩分を補給し休憩を取って **熱中症予防!**



声かけ・点検・整備
ヘルメット・シートベルトで **農作業安全**

農業機械に関するご相談
お求めはお近くのJAへ

JA農業機械センター・JA全農長野



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

